

平成 18 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

刑 法 問 題 紙

A 日程

平成 17 年 10 月 30 日

15 : 00 ~ 16 : 30 (90 分)

(120 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

問題 1 (配点 60 点)

XとYは、Aを殺害することを共謀し、AをY宅に呼び出して椅子に縛りつけた。Yが猟銃でAを殺害しようとしたところ、「助けてくれ」というAの哀願する姿を見て、かわいそうになったXがYに体当たりをしたため、弾丸はAに当らなかった。XはAの殺害を止めるようにYを説得したため口論となり、Yに殴り倒されて気絶した。その直後、YはAを射殺してしまった。

Xの罪責について論じなさい。

問題 2 (配点 60 点)

X男は、不倫相手のA女が執拗に結婚を迫るので同女との関係が重荷となり、別れ話を持ち出したところ、「別れるくらいなら一緒に死んでほしい」旨申し出たため困り果て、渋々心中の相談に乗った。しかし、翌日には気が変わり心中する意思がないにもかかわらず、追死してくれるものと信じているA女のみを殺害しようと考え、青酸カリ入りのジュースを飲ませて死亡させた

Xの罪責について論じなさい。